

平成26年度上半期直轄工事の事故発生状況(速報値)



注意！！工事事故が最悪のペースで増加！！

◆ 工事事故発生件数

● 平成26年度上半期(4月～9月)の事故発生件数は**89件**発生しています。
近年最悪であった、前年度25年の85件を上回るペースで増加しています。
 (もらい事故は含まない)(参考 表-1)

25年度と26年度の比較(累計数字)

25年度		26年度	
4月	9件	→	4月 10件
5月	29件	→	5月 27件
6月	42件	→	6月 37件
7月	55件	→	7月 57件
8月	67件	→	8月 76件
9月	85件	→	9月 89件

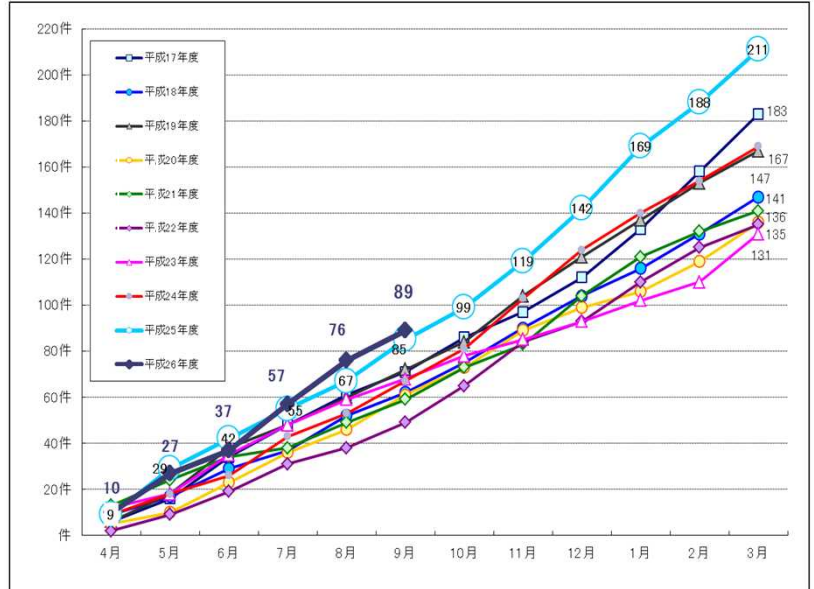


表-1 年度別事故発生件数 (もらい事故は含まない)

◆ 月別事故発生件数

月別で見ると25年度は7月に増加の傾向がみられましたが、**本年度26年は7月～8月に増加**がみられます。この件数は近年最多の月別の事故発生になっています。(もらい事故は含まない)(参考表-2)

25年度と26年度の月別比較

25年度		26年度	
4月	9件	→	4月 10件
5月	20件	→	5月 17件
6月	13件	→	6月 10件
7月	13件	→	7月 20件
8月	12件	→	8月 19件
9月	18件	→	9月 13件

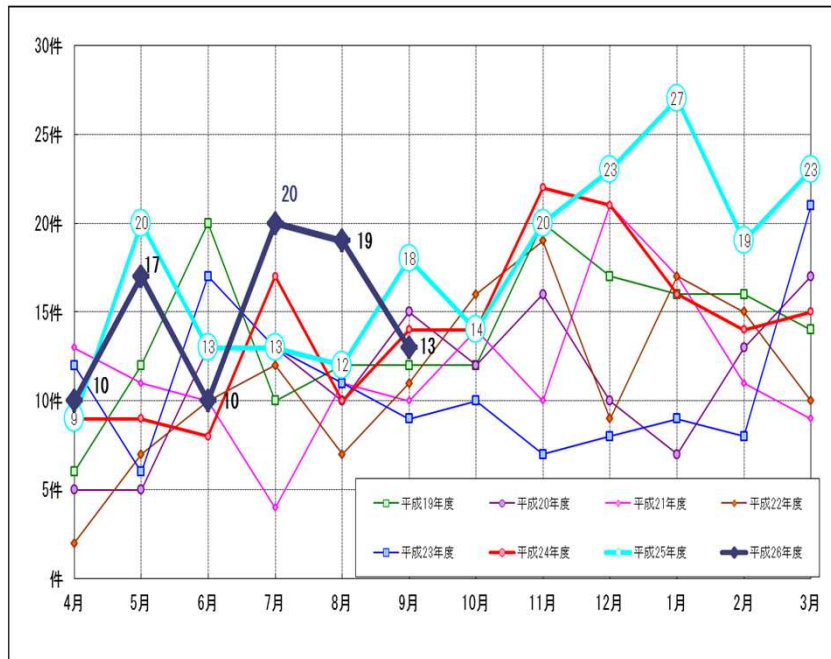


表-2 月別事故発生件数(もらい事故は含まない)

平成26年度は、前年度を上回る勢いで事故が増加しています。これから年度末にかけて、工事量が増加していきます。このままのペースだと、近年最悪であった、昨年度を上回るという、事態になりかねません。また、事故のなかにはいつ、死亡事故につながってもおかしくない重大な事故もあります。

下半期に入り、工事の繁忙期を迎え、安全への意識を高めていくことが必要です。もう一度、安全に対する意識を高め、日々作業を行って下さい。

これ以上事故を増やさない為に、更なる事故防止対策を！

飛来・落下、墜落の事故が発生！

⚠ ~工事関係者事故で死亡事故がおこってもおかしくない事故が発生~

事例1 落下：機盤の落下で負傷！！

エアホースを下す際に降下作業用ロープにエアホースをホースに巻きつける作業中に手がすべり、ホースを離してしまったため、ホースが落下し巡回中の作業員にあたった。

負傷： 外傷性歯牙破折、冠脱離（全治2か月）

原因： 落下地点周辺を立ち入り禁止にしていなかった。

対策： 荷の上げ下ろしの作業において立ち入り防止区域を明記する



事例2 墜落：約4mの高さから墜落！！

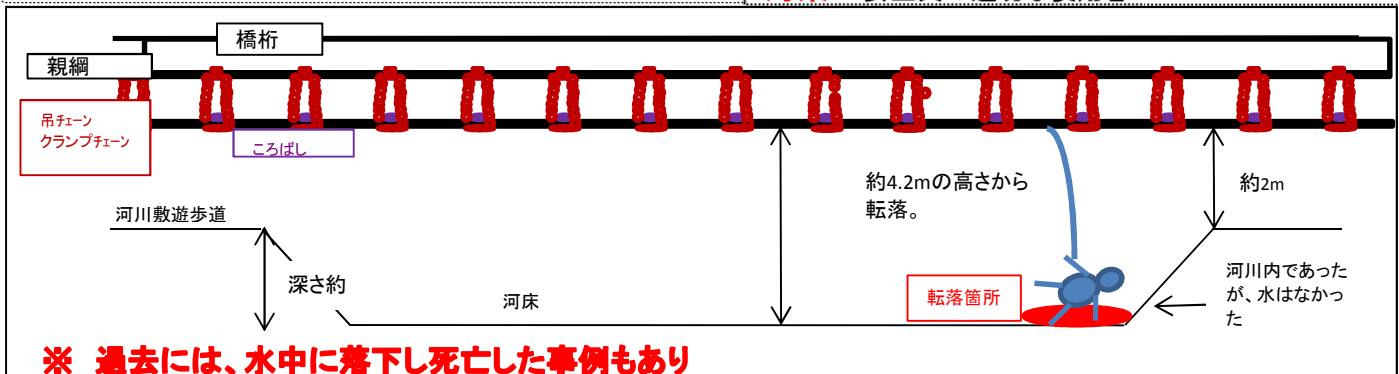
橋梁の塗替え工事の為、設置していた吊足場の解体作業中に作業員が足を滑らせ約4m下の河川に墜落した。

負傷： 脳震盪、頰顎部裂傷、右腹部打撲（休業3日）

原因： 安全帯をつけていたが、墜落防止のためのフックをかけずに作業していた（土木工事安全施工技術指針：墜落防止のための措置をとらなかった）

元請は作業員が安全帯の未使用について確認していながら指導していなかった

対策： 安全具の適切な使用を



STOP事故！もう一度確認！！

平成26年度工事等事故防止重点対策項目！

1. 地下埋設管及び施設ケーブルに対する事故
2. 架空線に対する事故
3. 高所作業箇所からの墜落事故
4. 資材・仮設材及び工具の飛来落下事故
5. 重機の転倒・接触事故
6. 草刈作業における飛び石事故
7. 吊り荷と作業員との接触事故

